

令和4年度第2回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和4年5月17日(火) 10時30分～12時00分
場所	Web会議
出席者	学長、渡理事、山下理事、寺本理事、山崎理事・事務局長、岩本副学長・全学教育機構長、西郡副学長、三島副学長、佐々木監事、小野教育学部長、吉住芸術地域デザイン学部長、檜澤経済学部長、末岡医学部長、豊田理工学部長、大島農学部長、野口附属病院長、中里附属図書館長、堀総合情報基盤センター長
欠席者	なし
陪席者	鯉川学長補佐、後藤学長補佐、石松学長補佐、平部学長補佐、只木学長補佐、上田学長補佐、田中学長補佐、伊藤地域学歴史文化研究センター長、池上海洋エネルギー研究所長、高橋シンクロトン光応用研究センター長、矢田肥前セラミック研究センター長、羽石キャリアセンター長

○学長より、令和3年度第11回大学運営連絡会議事要旨及び令和4年度第1回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

- (1) THE世界大学ランキング(日本版)2022の結果の詳細について
西郡IR室長より、令和4年3月に公表されたTHE世界大学ランキング(日本版)2022の結果について、IR室において分析を行った旨、ランキング指標及び分析結果のポイント等について、報告があった。
- (2) 令和4年度「TSUNAGIプロジェクト」地域課題の解決に向けた県と佐賀大学との連携事業の公募について
寺本理事より、佐賀県内の地域課題の解決や産業、学術分野の振興を目的として、佐賀県と佐賀大学との連携事業である「TSUNAGIプロジェクト」の公募を行う旨、本事業の概要等について、説明があった。
- (3) 2022年度「創発的研究支援事業」の公募について
寺本理事より、国立研究開発法人科学技術振興機構が実施している本事業について、5月12日から学内申請が始まっており、積極的な申請をお願いしたい旨、本学及び九州地区国立大学の本事業の採択状況等について、説明があった。
- (4) コロナ禍における教職員の海外渡航に関する当面の方針(案)について
三島副学長より、他大学において、条件付きではあるが海外出張が再

開されており、本学においても、ポストコロナの研究者交流・学術交流の再開を見据え、コロナ禍における教職員の海外渡航に関する当面の方針を策定した旨、外務省の「感染症危険情報カテゴリー」の各レベルに応じた本学における方針等を作成した旨、本方針に基づく海外渡航（出張）の手続の流れ等について、説明があった。

(5) コロナ禍における本学学生の海外派遣に係る基本方針（案）について

三島副学長より、日本人の海外留学に関し、大学間交流協定等に基づく1年未満の留学プログラムについて、大学等における学生の安全確保等への留意事項が文部科学省より示される等、再開されつつあることを受け、学生の留学機会を確保するとともに、学生の安全確保に万全を期すため、日本人学生の海外派遣に係る基本方針を策定する旨、基本方針及び外務省が発出する感染症危険レベルに応じた本学の対応方針等について、説明があった。

(6) 学生の海外留学・研修に関する危機管理体制の構築及び危機管理マニュアル（案）について

三島副学長より、本学学生が留学・研修のために海外に渡航した際、昨今の世界情勢及び感染症拡大リスク等によって、渡航先に関わらず、多様な危機事象が発生しうる状況を踏まえ、学生の海外留学・研修に係る全学的な危機管理体制の構築及び危機管理マニュアルの策定を行う旨、学生の海外留学・研修における危機管理マニュアル（案）について、説明があった。

山崎理事より、危機管理マニュアルにおける緊急連絡網等について、他の危機管理マニュアルからの流用が見受けられるため、今回の趣旨に沿ったものを新たに作成したほうが良いのではないかという意見があった。三島副学長より、危機管理マニュアルの内容について、改めて精査する旨の発言があった。

(7) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

学長より、月例データに基づく気づき事項については特になしことの報告を受けている旨の発言があり、次いで、各部局長より、月例報告があった。

(2) その他

特になし。

【 その他 】

学長より、各学部の就職率等のデータが出揃ってきていることから、詳細な分析をお願いしたい旨、羽石キャリアセンター長へ依頼があった。

羽石キャリアセンター長より、現時点での就職率等の分析内容等について説明があり、今後、更に詳細な分析を行ったうえで、各学部との情報共有を行い、今後の対策を行っていきたい旨の発言があった。

以 上